

シロアリ対策って必要なの？



シロアリ対策とは、いわば『地震対策』でもあります。

阪神淡路大震災の調査では、シロアリや腐朽による被害が有るか無いかで、住宅の全壊率に4倍以上の差がついていたことが分かっています。

シロアリや腐朽被害があった家の9割は全壊していました。

大事なマイホームを守り、大事な家族を守るために、シロアリや腐朽の対策（劣化対策）は必須と言えます！



普通の対策では、不十分なの？



3つの項目から見ると、不十分なお家が多いのが現状です。

項目1 5年しか効果がない農薬系薬剤を使っている。

→5年後に再処理が必要です。しかし、壁の中の木部を再処理することは、事実上不可能です。

項目2 土壌処理を省略している。

一品確法では、べた基礎であれば土壌処理は不要とされています。しかし、べた基礎の住宅であってもシロアリの侵入事例は多数あります。

項目3 外来種「アメリカカンザイシロアリ」の対策は考慮していない。

→今問題となっている、外来種「アメリカカンザイシロアリ」の生息地域だと、従来の対策では効果が見込めません。

特に重要なのが**項目1**の、薬剤の持続性の問題です。

壁の中の木部をきちんと処理できるタイミングは、新築時しかありません。

再処理が困難な部分だからこそ、「薬剤の持続性」を考えた対策が求められています。



安全面と費用ってどうなの？

一般的な農薬系薬剤は、一定の安全性が確認されたものが使われていますが、小さなお子さんや妊婦さんには不安がありますよね。

また、一般的な農薬系薬剤は安価なものが多く、新築時は安いのですが、5年毎に再処理しなければ効果が維持できません。再処理費用が発生し続けるので、**トータル費用は大きく増えてしまいます。**

「eことアル工法」なら、安全性に最大限配慮しながら、効果は10年と、より長持ち。再処理を含めたトータル費用を安く抑えることにも繋がります、家族がハッピーになれる、健康住宅工法なのです！



「エコボロン®」は文化財の木材保存処理にも使われています。



熊本城にも使われています！

文化財



熊本城

本丸御殿・不開門・平櫓・長堀・監物台

2012年12月、シロアリの予防処理に採用されました。

文化財



犬山寂光院

薬医門・本堂・随求堂

虫害が多く、シロアリ駆除剤の効果が一時的であったため、採用されました。

文化財



石川酒造 本蔵

お酒を醸造する酒蔵では、殺虫剤は使えません。明治期に建てられ130年以上の歴史をもつ本蔵に採用されました。

外来種

空からやってくる、やばいやつ!!

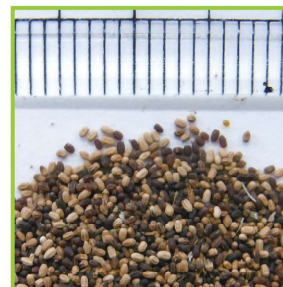
アメリカ カンザイ シロアリ にご注意ください。



アメリカカンザイシロアリは、飛んできた羽アリが木材を見つけて入り込み、直接そこを巣にしまいます。
地面に巣を作らないため神出鬼没で、厄介な外来種なのです。



羽アリが木材を見つけると、**あっという間に穴をあけて潜り込み、巣造りを開始**します。輸入木材や家具に潜んでいることも...



上写真のフンを見かけたら要注意。その真上に、アメリカカンザイシロアリの、立派な巣ができています証拠です。



アメリカカンザイシロアリは、**早期発見が難しい**ため、気付いた時には大被害になっている事も多く注意が必要です。

- 一般的な防蟻処理(1mの高さまでの処理)と、**5年しか保たない薬剤**では、対策になりません。
- アメリカカンザイシロアリ生息地域では、全ての構造用木材へのエコボロン処理が推奨**されます。



株式会社
エコパウダー

〒340-0035 埼玉県草加市西町 942-22

TEL 048-928-1671 (代)

エコボロン

Q 検索



(公社)日本木材保存協会認定

ホウ素系木材保存剤

「エコボロン」及び「エコパウダー」は(株)エコパウダーの登録商標です。